

**【R4】インスタントハウスの技術を応用した耐震改修による空き家の利活用促進実証事業  
(愛知県南知多町)**

別添資料4

インスタントハウスの技術を応用した低コストで耐震性及び居住性を向上させる耐震改修の技術を確立するための実証試験を実施し、今まで市場に流通させることができなかった空き家を活用することによって収益化を図り、将来的に必要な解体に係る費用の取得が可能な事業モデルの構築を目指した。

**■ 事業概要**

事業部門	部門2 住宅市場を活用した空き家に係る課題の解決を行う事業
事業地域	愛知県南知多町
背景・課題	老朽化が進んでいるものや旧耐震基準のものなど、今まで市場に流通させることができなかった空き家に対して一般的な耐震改修工法により耐震性と居住性を向上するためには、施工費が高額になるとともに施工期間も長くなるため、事業として採算をとることが困難である。 そのため、低コストで耐震性及び居住性を向上させる耐震改修の技術を確立する必要がある。
目的	インスタントハウスの技術を応用した低コストで耐震性及び居住性を向上させる耐震改修の技術を確立するために実証試験を実施し、空き家の活用によって収益化を図り、将来的に必要な解体費の取得が可能となる市場機能に基づく持続可能な空き家対策モデルを構築する。
連携する団体・役割	国立大学法人名古屋工業大学、株式会社LIFULL、株式会社LIFULL ArchiTech

インスタントハウスの  
技術を改修に応用

市場価値のない空き家を改修して収益化を図り、将来的に必要な  
となる解体費の取得が可能な空き家対策事業モデルを構築する。

  
市場価値のない  
旧耐震の空き家

☑ 耐震性UP

☑ 居住性UP

+

☑ 訴求力UP

(デザインコンペティション)

市場機能に基づく  
持続可能な空き家  
対策モデル

財・サービス

**供給**

(空き家改修)



行政 民間

**需要**

(消費・投資)

対価